

児童発達支援自己評価表「事業所職員向け」

公表 令和4年7月1日

事業所名 さんぼみち

スタッフ15名回答

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は、改善目標
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	8	7	0	・遊び場があまりない。来年度グループ増えるのでより調整が難しいなと思いました。	・1グループあたりの人数が減るため、合同で使ったり、環境整備や時間調整をするなどして対応できるようにしていきます。
	② 職員の配置数は適切である	11	3	1	・配置としては足りている。支援や事務処理、その他のことを考えると、負担を大きく抱えているスタッフがいるように思います。	・一人ひとりの業務整理を行い、仕事量と負担感を軽減できるように検討していきます。
	③ 生活空間は、本人に分かりやすく構造化された環境になっている。また、発達の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	13	2	0	・子どもが分かりやすいよう、絵カードや写真を壁面に貼っている	・その子に合わせて、何がわかりやすいのかを考えながら、支援を工夫していきたいです。
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	10	4	0	・整理整頓、掃除等配慮が行き届いていない部分があります。 ・清潔さはあるが、やや狭い。 ・支援後、毎日掃除の時間を設けている	・支援後の掃除スタッフを配置しました。 ・整理整頓がしやすいように、写真や絵などをつけ、元の位置に片付けやすいように工夫します。 ・汚れに気付いた時にはお互いに声をかけあいながら、掃除ができるような関係性をきづいていきたいです。
業務改善	⑤ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	11	3	1	・常勤でもパートでも、一人ひとりの思いに差があるように感じます。	・朝、話し合いの時間を設け、お互いの思いを伝えあえる関係づくりをしています。

児童発達支援自己評価表「事業所職員向け」

	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	13	2	0		
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	9	5	1	・自分がよく把握できていなかったです。 ・ホームページリニューアル中。	・誰もがわかりやすいように周知していきます。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	9	6	0	・自分が把握できていない。	・報告、伝達方法などを検討し、チャットやメールなどを利用して、把握しやすいようにしていきます。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	15	0	0		
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	15	0	0		
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	0	0	0	・K式発達検査2020 感覚プロファイリング等	
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家庭支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	14	1	0	・地域支援に関して、コロナの状況もあるが、弱いように感じます。	・近年、コロナの状況に左右されることが多いことは事実です。その中で、できることを考えていけるといいと思います。

⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	13	2	0	<ul style="list-style-type: none"> ・作成しても、自分が後から見返したりできていないので、意識できていないところが多いかと思った。パートさんたちには、お家での様子は申し送りで伝えたりしているが、細かい目標など共有できていないかと思った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・年度初めに確認をすることに加え、日々目にする振り返りシートに目標を記載するなど、共有しやすいようにしていきます。
⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	11	2	1	<ul style="list-style-type: none"> ・もう少しパートスタッフの思いをひろいあげながらできると、パートスタッフも安心して取り組めると思っています。どのような構造にしていけばやりやすいのか、考えています。 ・振り返りの時間を使ってグループでもう少し話したい。以前から話には上がっているが、うまく振り返りの時間活用できていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動プログラムを記入するシートを作成しています。何もない状態から活動を考えることは難しいので、選択肢の中から選べるようにしました。 ・支援後の掃除の時間が軽減された分、話し合いの時間をのばしました。また、毎月行うMTの時間にグループごとでの話し合いの時間を設けるようにしています。
⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	10	5	0	<ul style="list-style-type: none"> ・集団へ慣れてきているかというところや、運動発達面のチェックのためにさまざまな活動を定期的に行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・遊びが固定化しすぎないように、遊びのシートを作り、いろいろな遊びをためていけるようにしています。
⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	12	3	0		
⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	13	2	0	<ul style="list-style-type: none"> ・様子は伝えることができているが、どうゆう対応をすればいいか、見立てまでは、自分が深く話し合えていない。 ・職員間で意見交換ができるよう努めている 	<ul style="list-style-type: none"> ・経験の差もありますので、お互いに話し合える雰囲気をお大切にしています。少しずつ自分の思ったことや考えていることなどをお話していただけたらと思います。
⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	14	1	0	<ul style="list-style-type: none"> ・以前から、何度も話題には出ているけれど、うまく活用できていない。次の支援につなげる話まであまりできていないかも。 	<ul style="list-style-type: none"> ・振り返りシートの様式をかえました。どこに視点をおくのがわかりやすくなるかいいと考えています。
⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	13	2	0	<ul style="list-style-type: none"> ・記録を残すことに必死になることがあり、それを支援につなげていくのは今後の課題だと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・1日ごとに支援が終わるのではなく、流れがあることを意識しながら、支援の話をできるように努めています。

児童発達支援自己評価表「事業所職員向け」

	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	14	1	0		
関係機関や保護者との連携	㉑	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	15	0	0		
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	15	0	0		
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	14	1	0		
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	14	1	0		
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	13	2	0		
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	13	2	0		
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	11	4	0		

児童発達支援自己評価表「事業所職員向け」

	⑳ 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流の機会がある	1	7	7	・どのような形での交流が可能なのか、難しいです。	・みんなで話し合えるといいと思います。近隣の園の園庭開放をしていただくなど、地域とのつながりができるとよいかもしれません。
	㉑ (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	4	6	5		
	㉒ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	13	2	0	・じっくりと話すのは、個別支援の面談のときだけで、日頃送迎のときしか話せないの、詳しく話せない。	・日頃の送迎時は難しいですが、ポイントとなることや印象に残るエピソードなどをお伝えしていくことが大切だと思います。
	㉓ 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家庭支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている	15	0	0	・自分自身は、ペアトレや親の会に参加したことないです。	・支援の関係上、参加は難しいですが、どのようなことをやっているのか、MTののりなどにお伝えしていきます。
保護者への説明責任等	㉔ 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	13	2	0		
	㉕ 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	15	0	0		
	㉖ 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	15	0	0		
	㉗ 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	12	3	0	・コロナのこともありますが、対応できるスタッフが少なく、充実しないことにもどかしさを感じます。	・今年度は感染予防対策をしながら、数ヶ月に1回開催できるようにしていきます。

児童発達支援自己評価表「事業所職員向け」

	③⑥	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	13	2	0		
	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	14	1	0		
	③⑧	個人情報の取り扱いに十分注意している	15	0	0		
	③⑨	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	15	0	0		
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	5	7	3	<ul style="list-style-type: none"> ・周年祭ができなくなったり、地域のお祭りがなかったりするので、難しいです。他の方法で、地域交流を図れるといいと思います。いいアイデアが思い浮かびません。 ・コロナでできていない ・コロナウイルス感染症の予防のため、行事がなかなか行えていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・近年、コロナ対応で、なかなかできず、残念です。招待は難しいですが、他の方法で、地域の皆様に知って頂く機会を設けられるといいと思います。
非常時等の対応	④⑪	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	13	1	1		
	④⑫	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	13	2	0		
	④⑬	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	14	1	0		

児童発達支援自己評価表「事業所職員向け」

④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	13	2	0		
④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	14	1	0		
④⑥	虐待を防止するため、職員を研修機会を確保する等、適切な対応をしている	12	3	0		
④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	10	4	1	・必要があれば記載するが、現在所属しているなかに身体拘束が必要な児がいない。	